

令和4年度しらぎく幼稚園学校関係者評価表

令和5年 3月7日

学校関係者評価委員会

保護者 7名

幼児教育関係者 2名

学校自己評価に基づき下記の通り関係者の評価とします。

A:とても良い

B:良い

C:普通

D:悪い

本年度の重点的に取り組む目標について

1 自園の園の教育目標を取り入れた保育計画を立てて保育を行うことができたか。

A:8人 B:1人 C:0人 D:0人

- ・ しらぎく幼稚園には子どもから子どもへと受け継がれた「ぼくだん」や「泥団子づくり」などの遊びの伝統があり、更に木のレンガや水の流れる砂場など、そこに新しい環境が加わることで、子ども達の遊び込む姿を見ることができました。このようなアクティブラーニングにより小学校へ接続される子ども達が楽しみです。
- ・ 子供たちが遊んだり活動したりする姿の動画や写真を見ることができ、しらぎく幼稚園さんが実践される幼児教育を具体的に把握することができました。特に、幼児の自発的な活動である「遊び」を重視され、そのために教師が援助したり環境構成を行ったりしていること、また、自然環境を充実させ、そこでの体験活動を重視されていることは、質の高い幼児教育に直結していると感じました。
- ・ 年長さんのしらぎくフェスタは親としてもこの先、子どもの成長が見られる場面はとても感慨深いですし、子どもが自分で考え実践している姿はたのしいと思います。自分達で自分達なりに考え作っていく、皆で完成させていく、その成功体験は今後の自信につながりますし、もっともっとこうしようなど挑戦しようという積極的な力になっていくと思います。いつか、自分の子どものそういった姿が見られるのを楽しみにしています。
- ・ 年少、年少少でも感覚遊びやいろいろな活動を取り入れてもらい、家ではなかなか体験しない活動をやらせてもらえて、先生方にはいろいろな努力で子供達の可能性を発見し引き出せる園生活を送らせてもらっていると感じます。
- ・ 自然にふれたり、新しい活動を取り入れ、体験できる環境を作っていることに感謝しています。

- ・ 教育制度が大きく変化している中で、園側の改革を実感しています。お泊り保育がしらぎくフェスタになり、親としては残念だなと思っていましたが、出店という形でお金のやり取りをし、子供達の意見を形に出来たイベントになったのは、良かったと思うし、何より子どもが喜んでいたので、私も嬉しかったです。
- ・ 園庭の広さ、自然を上手く活用し、幼児期にしか出来ない遊びをたくさん経験させてもらえるように感謝しています。ただ、この様な情報が外に出ないのは非常にもったいないと思います。
- ・ しらぎく幼稚園では園庭の中で沢山の自然と触れあう活動ができ毎日息子の泥だらけの靴を見ると「遊びの充実」を感じます。
- ・ 保育に「話し合い」を取り入れ子どもたちの声を大切にしている。
- ・ 子ども達が夢中になれる、遊びに広がりがある。それを考えて造られた園庭と先生の見守り方。
- ・ 園長先生が子ども達の遊びをよく理解されている。
- ・ 五感を使った保育内容。
- ・ 植物の多様性。
- ・ ムツレ教育を取り入れている。

私が考えるしらぎく幼稚園の素晴らしいところです。先生方に感謝の気持ちで一杯です。園庭整備など私にできることがあれば先生方の力になりたいと思っています。

2 コロナウイルス感染予防の実施。

A:6人 B:3人 C:0人 D:0人

- ・ 市内の保育園や幼稚園では、コロナの感染拡大により、保護者への自宅待機をお願いするなど心苦しい対応が続いています。そのような現状を鑑みると預かりクラスで小さなクラスターはあったようですが、この規模に抑えられたことは感染対策の成果と言えるのではないのでしょうか。

3 自園給食、食育に対する取り組みについて。

A 9人 B 0人 C:0人 D:0人

- ・ あけびや、つくしに、ゆすらうめ、実が成り、口に入るまでの過程を五感で感じることが何よりの食育になっているのだと思います。また秋の七草を園庭に植え、食する試みが素敵だなと思います。子ども達には日本の原風景を思い浮かべるような食卓にしていきたいです。
- ・ お友達と一緒に自然に触れたり伸び伸びと走り回る事は、子どもの心身の成長につながったと思います。作物を植えたり、自然について学ぶこと(体験すること)は知識が増え、本人も楽しいようで家では教えてもらった事を思い出しながら図鑑を見ていることも。自然の勉強や食育については今後もたくさん行っていただけたらと思います。

4 自然保育について。

A:9人 B:2人 C:0人 D:0人

- ・ 自然体験に留まらず、その一歩先の「自然の循環に活かされているという感覚」を森のムツレ教育から感じ取っているのではないのでしょうか。この活動を続けて、園児の皆さんが持続可能な社会の担い手となっていただきたいです。

本園の総合的な評価結果と今後の課題について

川遊びについて

- ・ 年中、年長さんと上西郷川に遊びに行くということをされてますが、年少少目線で見るとキャッチアンドリリースも大事ですが、一部採った魚やエビを展示などして(それが難しい問題があるかもしれません)年少、年少少にも共有できる機会があると嬉しいと思いました。コロナ禍で難しい部分もあるかと思いますが、良い活動を少しでも園全体で楽しめたらと感じます。

遊びの充実について

- ・ 年中になっての一年では遊びを通してお友達との絆をより深めることができ、より沢山の友達ができた事で園生活も充実していたようです。「一緒に何かに夢中になって取り組む」というのは自然と交友関係にもつながってくると強く感じた一年となりました。

職員の労働環境について

- ・ 先生方の負担を減らすという意味で、My おうちえんの更新は月一回でも良いのでは？写真が沢山見れるなら充分だと個人的には思います。
- ・ 福津市に実施してもらいたい支援制度などがあれば知りたいです。保護者が働きかけるとで何か力になれないでしょうか？
- ・ 雇用の問題など、園の問題の大きさは、話を聞くまで全く想像もしていないものだったので、今後の為に先生方の環境面の改革を表立ってやって欲しいと思います。3人の先生で交代でクラスをみるとかでも良いと思います。子育てをしながら、皆で支えながら教育・成長が出来るあたたかい園になる事を心から願います。
- ・ 職員の方の業務負担や人材不足に関しては、大変厳しいという事は理解しました。子ども達が楽しくのびのびと生活できるのが大切なので、保護者側で何かお手伝い出来ることがありましたら、ご協力していきたいと思います。
- ・ 職員の件ですが、今後の保育環境を向上させるためにも、保護者にそういったアンケートをとり、意見を聞いてみるのもどうかと思います。

その他

- 園長先生が、動画や写真をもとに、非常に具体的に(シチュエーション や幼児のつぶやき等)解説をされる場所に感銘を受けました。園長先生ご自身が子供たちと積極的に関わり、また、職員の皆様同士でのカンファレンス等円滑に行われているためと推察します。それを情報発信されているとのことで、保護者の方々も、子供たちの日常的な姿や、園の教育方針等より理解しやすくなると感じます。
- 担任をもたれている先生のお話も聞いてみたいと思った。
- 「男の子」、「女の子」についてどのような考えや方針があれば聞いてみたいです。
座るトイレは女の子だけだから自分には行けないの？、ピンクの靴下をはいていたら先生怒るかな？という話をされていて気になりました。
- コロナウイルスの関係で親同士の交流が減り、知り合いのいない私は園からの情報をとても頼りにしています。園からの情報をもう少し増やして頂けると助かると思いました。(懇親会などは大変なのでそこまでは望んでおりません。以前のように行うのは状況的に難しいと思いますが、何か対策をお願いします。
- 今後も一つひとつの項目が園の運用によりつながっていくと思うので、子ども達の為に親も含め協力しあうべきだと思います。